

平成28年度千葉県計画にかかる国の内示と対応について

1 国への要望と内示の状況について

- (1) 国へは、医療分48.4億円、介護分46.5億円の合計94.9億円で要望した。
- (2) ・医療分については、33.1億円
 (対要望額▲15.3億円、対前年度比0.6億円増)の内示、
 ・介護分については、38.2億円
 (対要望額▲8.3億円、対前年度比15.9億円増)の内示があり、
 これらを踏まえ平成28年度計画を策定した。

2 要望額と内示額の差額への対応について

- ① 平成29年度以降執行分は、計上を見送り(11.0億円)
- ② 平成28年度執行分は、平成26年度及び平成27年度基金(以下過年度基金)と平成28年度基金を一体的に運用(過年度基金残額の活用)することにより、基金計画全体を通じて事業の実効性が確保できるよう努める。
 (医療分1.9億円、介護分7.3億円)
- ③ ①②によっても要望額との差額が生じるIV医療人材の平成28年度実施事業については、いずれの事業も必要性は高いが、財源が限られていることから、事業の優先度を踏まえ、事業の一部を見直した上で、全事業を実施する。

国の事業区分	国への要望額(A)	内示状況(B)	差額(B-A)	対応策			28年度計画の各配分(=B)
				対応① 29以降 計上見送	対応② 過年度 基金活用	対応③ 事業 見直し等	
I 医療施設	15.1	15.1	0	-	-	-	15.1
II 在宅医療	0.7	0.6	▲0.1	0.1	-	-	0.6
IV 医療人材	32.6	17.4	▲15.2	10.9	1.9	2.4	17.4
医療計	48.4	33.1	▲15.3	11.0	1.9	2.4	33.1
III 介護施設	43.8	35.5	▲8.4	-	7.3	1.1*	35.4
V 介護人材	2.7	2.7	0	-	-	-	2.7
介護計	46.5	38.2	▲8.4	-	7.3	1.1	38.1
合計	94.9	71.3	▲23.7	11.0	9.2	3.5	71.3

* III介護施設分の1.1億円は、市町村要望を精査した結果の減であり、計画どおり全事業を実施する。